



## 「つながり・チャレンジする 子どもたち・学校」

令和3年度4月は本当に暖かい日が続き、桜も例年以上に早い時期に咲き誇り、春が来たという思いが自然とわき出してきました。

昨年度は、コロナウィルス感染症による休校で始まり、緊急事態宣言で終わったような1年になってしまったこともあり、「令和3年度は、新たな気持ちでスタートしたい。」「安心・安全に学校に児童生徒に集まってもらいたい。」と願っていました。しかし、現実には、なかなかそのような状況に急に帰ることは難しい状況です。それでも、学校としては、できる限りの対策を行いながら、児童生徒達が、少しでも安心して過ごせるように、努めていきたいと改めて思っています。

そのような中ではありますが、4月9日(金)に令和3年度入学式を、小・中学部と高等部、2回に分けて行いました。小学部5名、中学部6名、高等部普通科22名、福祉総合科11名の新入学児童生徒と小学部に1名、中学部に1名の転入生を迎え、12年目を迎える本校は、全校合わせて159名の児童生徒でのスタートとなりました。

本校の教育目標は、「つながり・チャレンジする 子どもたち・学校」です。この目標は、開校の時から大切にしている言葉です。私たち八幡支援学校教職員は、様々な取組を通して「つながり」、みなさん一人一人の明日への「チャレンジ」をしっかりと支援したいと考えていますので、一緒にがんばって行きたいと思えます。

今年度は、社会の情報化が急速に進展している中、特別支援学校においても、GIGAスクール構想が進み始め、それぞれにタブレット端末が整備され、情報活用能力を身に付ける取組が、多くの場面で行われます。昨年度行ったONLINE参観日やYouTubeを活用した動画配信なども継続しながら、子どもたちや御家族にとって、少しでも有意義な活用方法を模索していきたいと考えています。

コロナ禍の状況はまだまだ不透明であり、今後どのような対応が必要になってくるかわかりません。保護者や地域の皆さまには、様々な制限や急な変更をやむを得ずお願いしなければならない場合が考えられますが、なにとぞ御理解と御協力をお願いいたします。

令和3年4月10日

京都府立八幡支援学校 校長 尾崎伸次